

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 013	提案機関名 横浜農業協同組合
要望問題名 直売・観光農園向けトロピカルフルーツの探索	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ・近年の温暖化傾向が今後も続くことが想定される中で、従来のナシ、ブドウ、カキなどの温帯果樹では暖冬による低温要求量の不足による花芽の充実不良による生産の不安定化、着色不良、夏の猛暑による果実の高温障害発生によるロスが増大が顕著になっています。 ・現地では、この温暖化傾向をプラスとして活用し、これまで不可能とされていたトロピカルフルーツへの関心が高まっています。 ・そこで横浜（神奈川県）における露地、無加温ハウス、少加温ハウスにより栽培可能なトロピカルフルーツの探索、試作検討をお願いします。（木本、草本は問いません）	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	足柄地区事務所
対応区分	①実施    ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名    (①、②、④の場合)			
対応の内容等 平成29年度からアボカドの中で耐寒性の強い品種の選定及び栽培試験に取り組んでおり、令和9年度まで実施する予定です。その後、新たに栽培可能なトロピカルフルーツの試験を行う予定ですので、試験研究課題化に向けて、露地及び無加温ハウスで栽培可能なトロピカルフルーツについて、本所とも連携しながら検討します。			
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			